

「情報公開文書」

課題名：白内障術後の距離別視機能に関する研究

1. 研究の対象

2019 年 5 月から 2024 年 12 月までの期間に当院で白内障手術を受けた方

2. 研究期間

倫理委員会承認後から 2026 年 7 月 31 日まで

3. 情報の利用及び提供を開始する予定日

利用開始日：2024 年 6 月 10 日

本研究は他施設への情報の提供はありません

4. 研究目的

白内障手術を受けた方の術後の距離別視力、距離別コントラスト感度を評価し、QOL との関連を調べることを目的とします。

5. 研究方法

この試験は、筑波大学単独施設で行われる、観察研究です。

2019 年 5 月から 2024 年 12 月までの期間に当院で白内障手術を受けた方を対象としています。診療で得られたデータを用いた研究で、データは匿名化し、解析します。研究期間は倫理委員会承認後から 2026 年 7 月 31 日までです。

6. 研究に用いる試料・情報の種類

- 患者背景：性別、年齢、眼合併症
- 術前眼情報：裸眼視力、矯正視力、自覚屈折、角膜乱視、前房深度 等
- 術中情報：手術日、術者、挿入眼内レンズ、レンズ度数、術中合併症
- 術後眼情報：遠方・中間・近方視力、自覚屈折値、コントラスト感度 等

7. 外部への試料・情報の提供

該当なし

8. 外国にある者に対して試料・情報の提供する場合

該当なし

9. 研究組織

本学単独研究

10. 利益相反（企業等との利害関係）について

当院では、研究責任者のグループが公正性を保つことを目的に、情報公開文書において企業等との利害関係の開示を行っています。

使用する研究費は教育研究経費です。

外部との経済的な利害関係等によって、研究で必要とされる公正かつ適正な判断が損なわれる、または損なわれるのではないかと第三者から懸念が表明されかねない事態を「利益相反」と言います。

本研究は、研究責任者のグループにより公正に行われます。本研究の研究者のなかには、眼内レンズを販売している企業より報酬を受領している者がいます（講演料など）。しかし、これは正当な業務報酬であり、意図的に企業に都合のよい成績になるよう導いたりすることはありません。そのため、実施にあたっては、事前に本学の利益相反委員会で審査を受け、利益相反状態は管理されています。この研究の結果により特許権等が生じた場合は、その帰属先は研究機関及び研究者等になります。あなたには帰属しません。

1 1. 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族が本研究への参加を希望されず、情報の利用停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

1 2. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

当院における照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

担当者の所属・氏名：筑波大学附属病院 眼科 担当 長谷川 優実
住所：茨城県つくば市天久保 2-1-1
連絡先：電話 029-853-3148(平日9～17時)